

5.3.4 スクールカウンセラー

<来校頻度(スクールカウンセラー調査問3)>

・来校頻度についてスクールカウンセラーに聞いたところ、「週に1回」47.1%の割合が高かった。

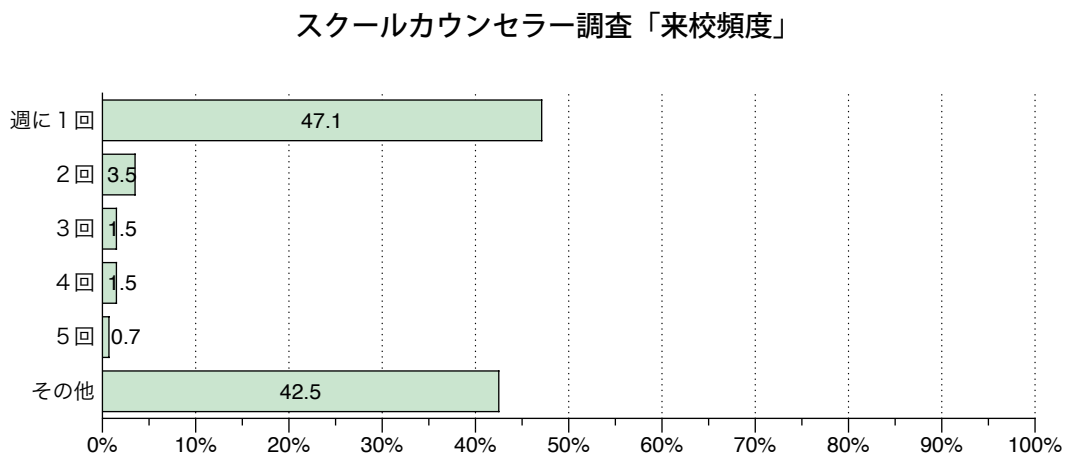


図 5.74：来校頻度

<来校頻度(校種別)>

・来校頻度を校種別で見ると、「週1回」の割合は、中学校 65.0%、高等学校 34.2%、小学校 31.7%であった。その他としては、月に1～2回の回答が多かった。

表 5.5：スクールカウンセラー調査「来校頻度」校種別 単位：%

	小学校	中学校	高等学校
週に1回	31.7	65.0	34.2
週に2回	2.9	3.2	5.4
週に3回	1.5	1.0	2.4
週に4回	3.1	0.8	0.5
週に5回	0.5	0.1	0.5
その他	56.2	28.1	53.5

<活動内容（スクールカウンセラー調査問6）>

- ・震災後、スクールカウンセラーの活動（複数回答）を聞いたところ、「子どもの個別面接」（58.4%）、「教職員への助言」（57.5%）の割合が高く、次いで「保護者の個別面接」（42.8%）の割合が高かった。

スクールカウンセラー調査「震災後の学校での活動」（複数回答）

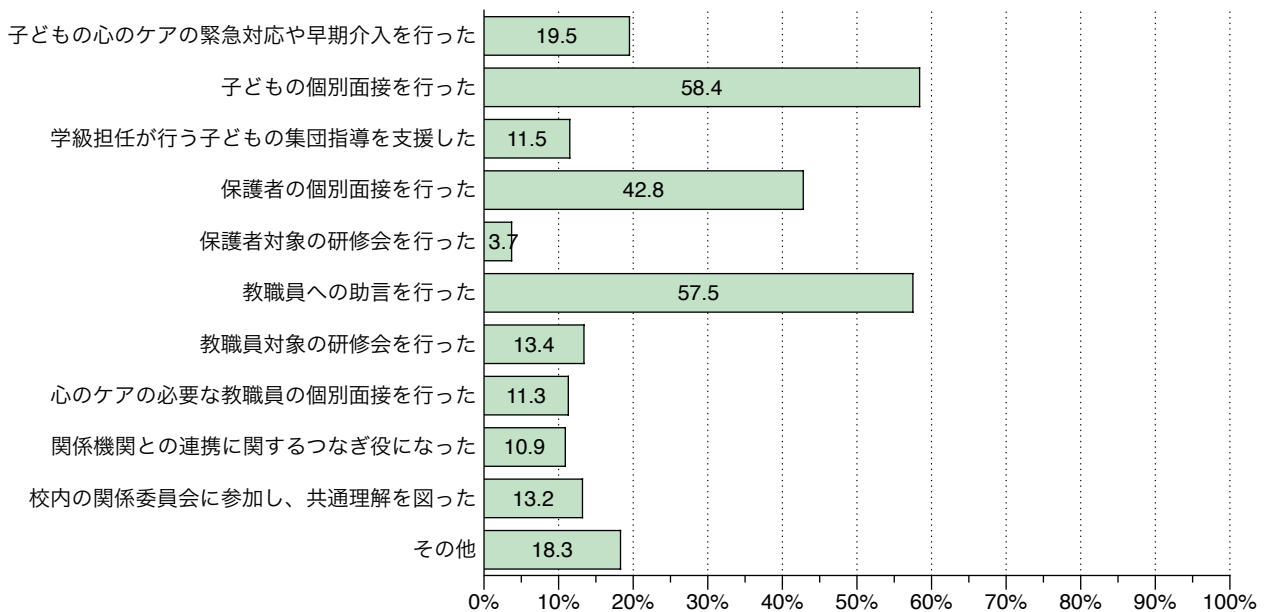


図 5.75：活動内容

<活動内容（校種別）>

- ・震災後のスクールカウンセラーの学校での活動（複数回答）については、各校種において活動の割合に差はあるが、「子どもの個別面接」、「教職員への助言」、「保護者の個別面接」の割合が高かった。また、「子どもの心のケアの緊急対応や早期介入」については、小学校 19.1%、中学校 19.2%、高等学校 20.9%であった。
- ・小学校では「学級担任が行う子どもの集団指導の支援」、中学校では「校内の関係委員会に参加し、共通理解を図る」、高等学校では「教職員対象の研修会」や「心のケアに必要な教職員の個別指導」といった活動にも取り組んでいた。

スクールカウンセラー調査「震災後の学校での活動」(校種別) (複数回答)

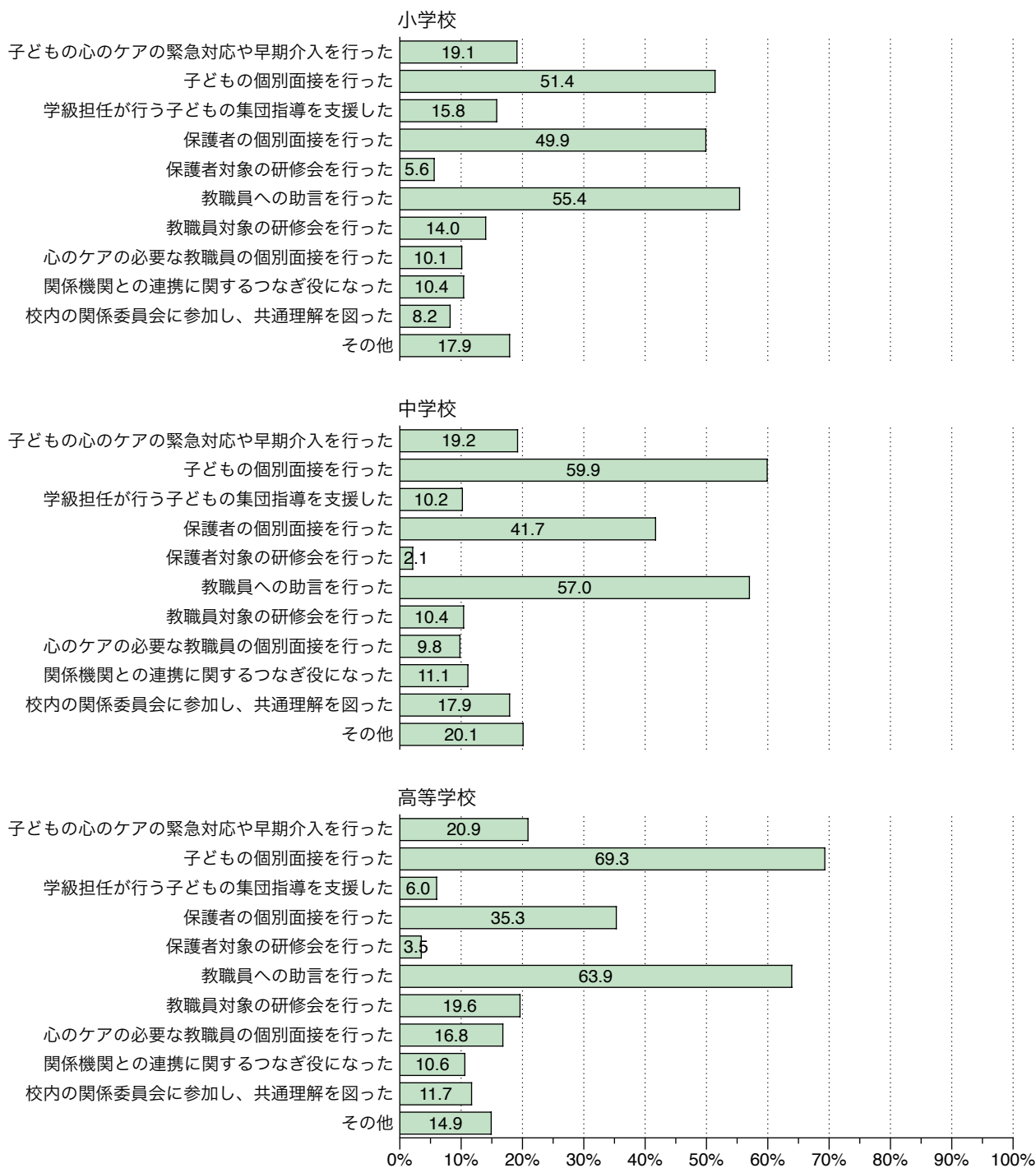


図 5.76：活動内容 (校種別)

<活動内容（地域別）>

・震災後のスクールカウンセラーの活動（複数回答）はいずれの地域においても、「子どもの個別面接」、「教職員への助言」、「保護者の個別面接」の割合が高かった。なお、「子どもの心のケアの緊急対応や早期介入」については、福島県、千葉県、宮城県が2割を超えていた。

スクールカウンセラー調査「震災後の学校での活動」（地域別）（複数回答）

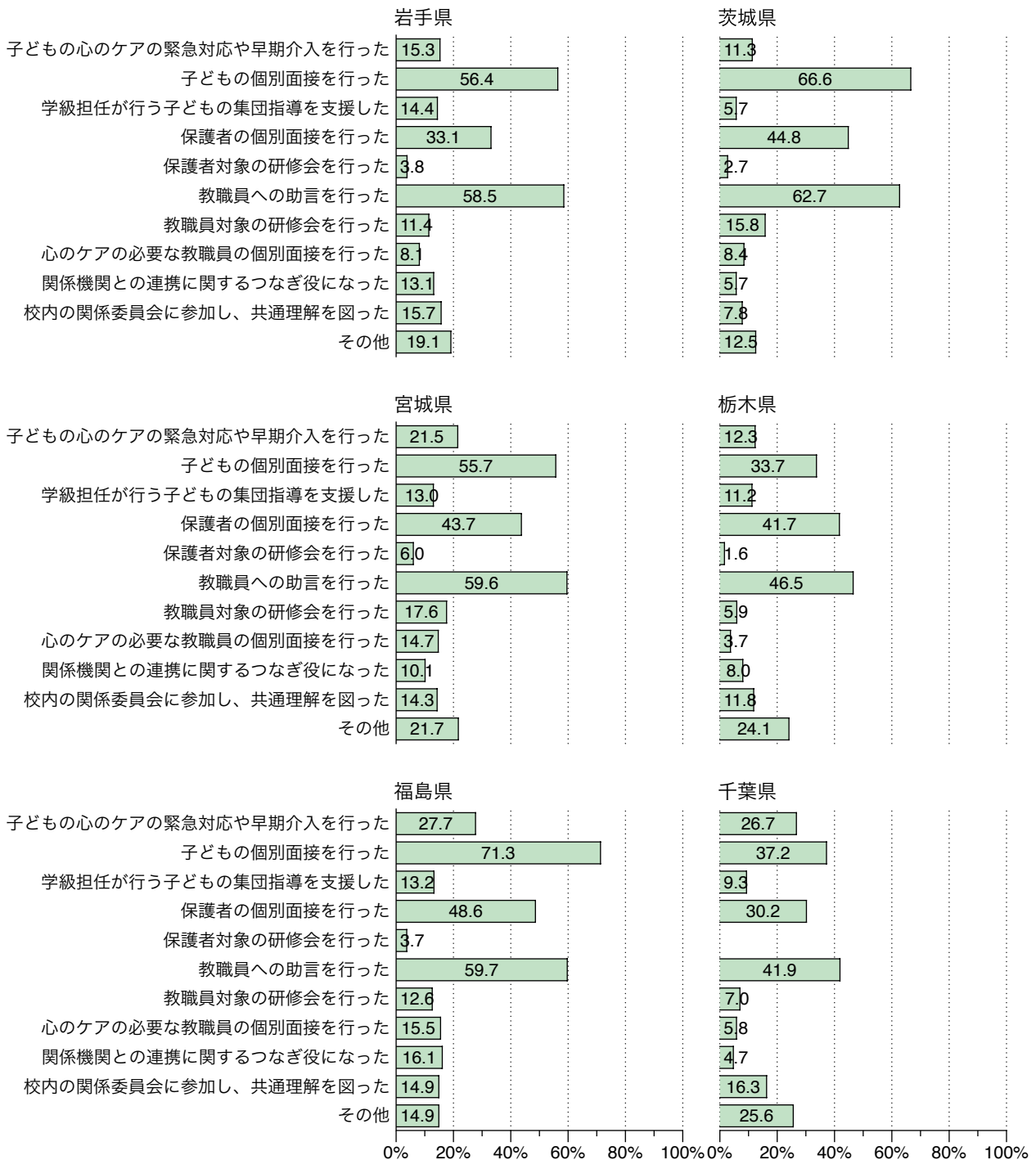


図 5.77：活動内容（地域別）

<スクールカウンセラー調査のまとめ>

- ・スクールカウンセラーの来校頻度は、「週1回」の割合が高かった。
- ・学校での活動は、各校種ともに「子どもの個別面接」、「教職員への助言」、「保護者の個別面接」の割合が高かった。小学校では「学級担任が行う子どもの集団指導の支援」、中学校では「校内の関係委員会に参加し、共通理解を図る」、高等学校では「教職員対象の研修会」や「心のケアに必要な教職員の個別指導」といった活動にも取り組んでいた。